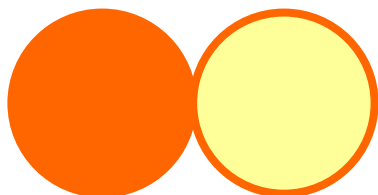
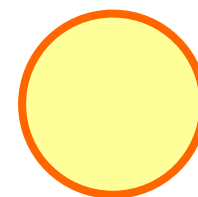


TAC関西 公認会計士講座 合格サポートゼミ

学習法確認セミナー

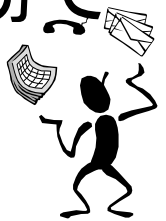


資格の学校  **TAC**

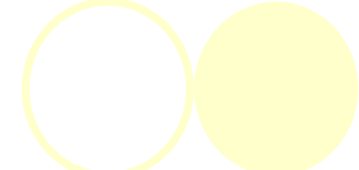
公認会計士 中根将晴

1. 講師紹介

- 中根将晴(なかねまさはる)
- 20代は一般事業会社で勤務。監査を受けていた。その業務中に、**専門知識の必要性・資格の力を痛感。**
- 30代でTACで、公認会計士講座を受講開始。
- 合格まで5回も受験したが、無事合格
- 現在TAC講師(財務会計論計算・理論, 管理会計論アクセス, 学習相談担当)
- 実務では監査法人非常勤職員、税理士業務でスタートアップ支援等を手がける



2. 2022年12月短答式本試験結果



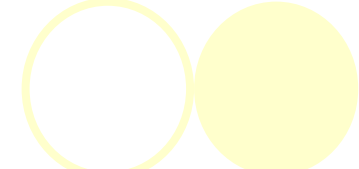
	2021年12月	2022年5月	2022年12月
答案提出者数(人)	9,949	9,870	11,401
合格者数(人)	1,199	780	1,182
合格率(%)	12.1%	7.9%	10.4%
ボーダー(%)	68%	73%	71%

- ❑ 1発で合格する方はごく少数。5月短答に臨む方が大多数
- ❑ 反省は必要だが、過度に自身を卑下しないこと
- ❑ 今回の結果から次の戦略を考える

(参考)12月短答過去実績推移

	H24.12	H25.12	H26.12	H27.12	H28.12	H29.12	H30.12	R1.12	R3.12	R4.12
受験者数	7,850	5,971	5,548	5,479	6,045	6,569	6,610	7,245	9,949	11,401
合格者数	1,071	1,003	883	863	1,194	1,090	1,097	1,139	1,199	1,182
合格率	13.6%	16.8%	15.9%	15.8%	19.8%	16.6%	16.6%	15.7%	12.1%	10.4%
ボーダー	67%	70%	60%	67%	74%	70%	63%	57%	68%	71%

3. 12月短答の結果から戦略を考える



12月短答の結果から導かれる学習戦略



12月短答結果	65%以上	65%未満
戦略例	23年5月短答⇒8月論文を目指す	5月短答特化も検討

5月短答特化とは

2023年5月 短答	2023年 論文	2024年 論文
短答科目に特化して学習	5月合格後, 1~2科目に絞って科目合格を狙う	残り科目で論文合格



4. 各戦略の比較

5月⇒8月と5月特化の長所短所



	5月⇒8月	5月特化
長所	□ 受験期間が今年で終了する □ 短答対策の計算力, 詳細の知識を論文で活かすことが出来る。	□ 基礎固めが可能 □ 仕事, 学校との両立しやすい
短所	□ 学習内容が多岐にわたり消化不良をおこすおそれがある。	□ 受験期間が延びる
対象者	□ 学習時間を十分に確保出来る方 □ 経済的事情等で今年で受験を終わらせるしかない方	□ 基礎固めに時間が必要な方 □ 学習時間があまり確保出来ない方

12月短答の成績と上表の項目を総合的に判断して戦略を決定しましょう。

5. 12月短答の振り返り

22年12月短答 科目毎の期待得点値



企業	管理 (計算)	管理 (理論)	監査	財務 (計算)	財務 (理論)
65/100	44/60	27/40	65/100	80/112	72/88

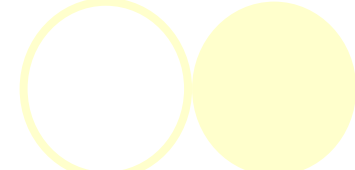
この期待値からの乖離が大きい科目の克服を優先しよう

6. 計算科目(簿記・管理)が苦手な方

- 基礎マスターの範囲で苦手箇所を残していないか？テキストの例題を大事に。
- 解答用紙(シート)を使って、実際書いているか？解答例を眺めているだけの復習になっていないか？
- ミニテスト・実力テストの有効活用を。
- 短答アクセス、短答基礎答練は3月までに解き直しを終わるようスケジュールリングする。
- 5月向け短答直前答練は4月から。それまでは論文用アクセスを活用する。



7.理論科目が苦手な方



□問題集・答練のみを回転していませんか？



□問題集・答練の情報はすべてテキストに反映する。

□テキストの文字面を眺めていても記憶には繋がらない。音読ベースに切り替える。

□テキストは目的を持って読む。1周目：基本的な制度規定、2周目：制度の要件、3周目：詳細規定 等

□長時間やっても定着率は低い。ポモドーロ法の手法がおすすめ

7. 5月⇒8月のタイム・スケジュール

2023年

1月～3月

論文対策を重点的に学習

- 租税法・経営学はこの時期に受講
- 論文基礎答練・応用答練
- 簿記・管理論文用アクセス
- 論文対策講義

- 弱点克服対策(前述)
- 12月向け短答答練・アクセス復習
- テキストインプット

4月～5月

短答特化

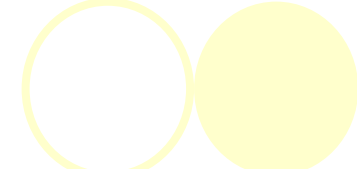
- 詳細な制度規定までの読み込み
- 短答直前答練で苦手箇所確認、B論点の上乗せ
- 暗記型知識の詰め込み

□ 6月～8月

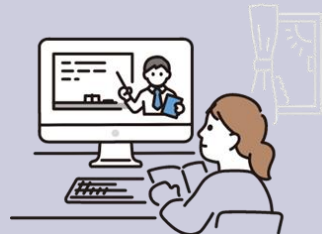
□ 論文基礎強化

- 租税法は圧縮講義で追いつく
- 経営学は計算部分を重視
- 短答科目はまず基礎～応用答練復習
- 細かい箇所は大胆にカットし、滑り込む戦略をとる

8. 1－3月期の戦略



＜論文対策に主軸を置いて学習する＞

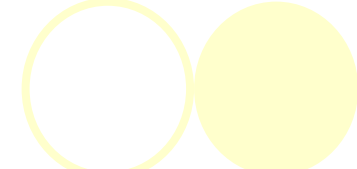
優先して受講	出来れば受講 (復習時間とのバランスで判断する)
❑ 租税法講義(入門基礎9回目+上級4回目まで) ❑ 経営学講義(10回目まで) ❑ 論文対策講義(企業法・監査論) ❑ 論文用アクセス(簿記・管理) ❑ 論文基礎答練(各科目共)	❑ 論文対策講義(財務計算・管理会計・財務理論) ❑ テキストチェックゼミ(管理・監査) ❑ 左記以外の租税法・経営学講義 

これらの復習に加えて、短答向け苦手科目対策の自習が加わることとなる。
ただし、欲張りすぎないこと。

9.論文答練・アクセスを優先させる理由



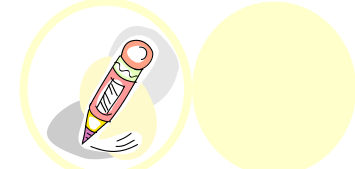
- 1－3月期は基礎的な出題中心
- 長い資料を読む練習をすることによる読解力の向上
(計算科目)
- 集計力の強化(計算科目)
- 制度の大枠の把握, 事例対策(理論科目)
- 論点・キーワードの把握(理論科目)



＜論文対策は一時休止，短答対策に特化＞

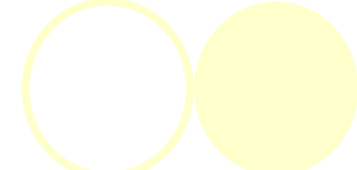
科目	対策
簿記・管理(計算)	□ 基礎マスターの範囲で復習漏れがないか(3月までに終わっておくべき作業ではあるが...。) □ 短答アクセス&短答基礎答練の苦手箇所(とにかく処理手順を抑える) □ 短答直前答練(問題の取捨選択をテーマに受ける)
理論	□ 12月向け答練等問題はすべてテキストに反映(これも出来るだけ3月までにです) □ テキストベースでのインプット。前述のように黙読しない。音読する。指さし確認も有効。ポモドーロ。 □ 短答直前答練⇒テキストに追加で反映

11. 6－8月期の戦略



科目	対策
簿記・管理(計算)	□ 論文基礎答練・応用答練・論文アクセス10回目までを優先 □ 論文直前答練は時間配分をテーマに受ける
理論(共通)	□ インプットはテキストベース。 □ 論文基礎答練・応用答練の追いつき。 □ 直前答練の受講
財務理論	□ 論点Q&A又は確認問題集とテキストの往復
管理理論	□ 論文総合問題集とテキストの往復 □ テキストチェックゼミ
監査論	□ 論文対策問題集とテキストの往復 □ テキストチェックゼミ
企業法	□ 問題集とテキストの往復
租税法	□ 圧縮講義の受講, 理論テキストのインプット
経営学	□ 未受講講義の受講, 理論部分のインプット

12. 最後に



- 弱点・目標を明確化し、手を広げすぎなければ5月⇒8月の合格は十分に可能性があります。
- ひとつでも取り入れることが出来ることがあれば、是非試してみてください。

以上です。